

<http://ohmirakuza.net/>

ホームページリニューアル！！



2006

STUDENT FARM
滋賀県立大学

近江楽座

まち・むら・くらしふれあい工舎

what's 近江楽座？

概 要

“スチューデントファーム「近江楽座」/まち・むら・くらしふれあい工舎”は、大学の総合力、教員の専門性、学生の行動力を源に、地域活性化への貢献を通して、地域社会へ根付いていくプロジェクトを募集し、所定の審査を経て採択されたプロジェクトに対して、調査、研究、活動等経費を助成するものです。文部科学省の平成16年度より「現代GP：現代的教育ニーズ取組支援プロジェクト」に採択され、今年で3年目を迎えます。

目 的

- 滋賀県立大学と地域が共同してよりよい地域づくりにつながるシステムをつくる
- 地域の課題に大学・学生が取り組み、地域の活性化に向けて共に活動する
- 学生が地域の方々と一緒に活動することにより、学内だけでは学べないことを体験する

what's 現代GP？

「現代GP」は、文部科学省が創設した「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」の略称です。文部科学省は「国公立私立大学を通じた大学教育改革の支援策」として、「21世紀COEプログラム」「特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）」等を推進してきましたが、それに加えて平成16年度の新規事業として「現代GP」を創設しました。滋賀県立大学は、「地域活性化への貢献」をテーマとして選び、学生主体の地域活動を全学的にサポートする教育プログラムとして申請し、採択されました。事業期間は、平成16-18年度の3ヵ年間。総額約4200万円の大学改革等推進補助金を活用してさまざまな地域課題に取り組み、大学と地域の連携を深めるとともに、地域に根ざし、地域に学ぶ実践教育の強化を図っていきます。

3

学生主体の
地域活動を
サポートする
つのシステム

活動助成システム

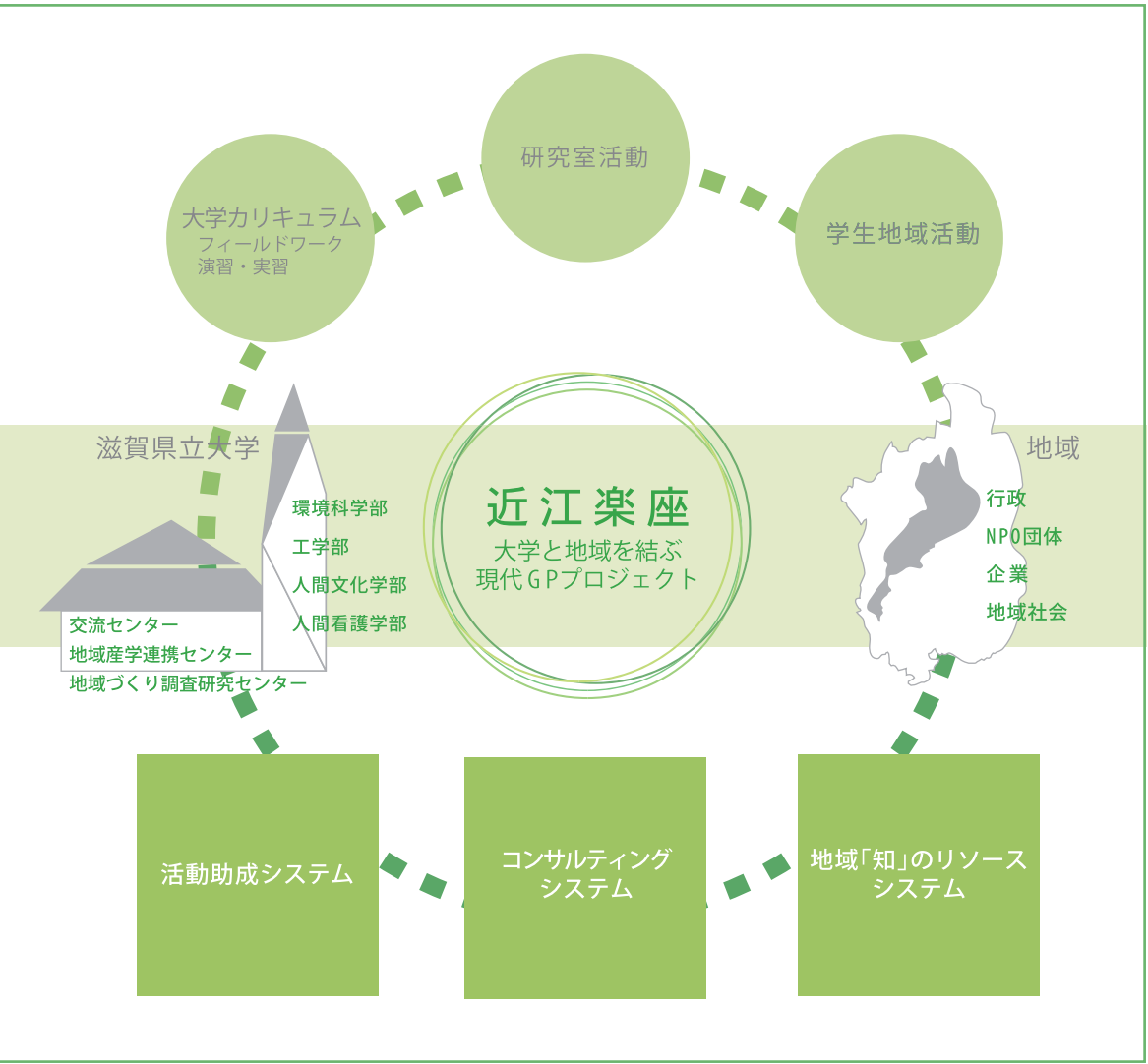
「近江楽座」として選定したプロジェクトの事業計画に基づいて、活動に必要な事業費を審査し、助成します。

コンサルティングシステム

教員チームの指導・助言に加え、行政や専門家の紹介など、学生の地域貢献プロジェクトを進めていくために必要なコンサルティングを行います。

地域「知」のリソースシステム

大学と地域連携に係る情報を他大学、研究機関、行政、NPO団体等と共有化・活用するためのデータベースを構築し、活動をサポートします。



平成18年度「近江楽座」に採択された20プロジェクト（うち15プロジェクトが継続）の主な活動拠点です。



○平成16年度採択
●新規採択

- 12 犬上川竹林プロジェクト
- 13 エコキャンパスプロジェクト木楽部会
- 14 再興湖東焼プロモーション事業
- 15 市民および医療に携わる人々との
ふれあいを通して志向する未来看護塾
- 16 障害児・者 / 自立支援・共生社会プロジェクト
- 17 菜の花エネルギーネットワーク
- 18 Fashion show
- 19 ひこねブランド
- 20 Let's 複合

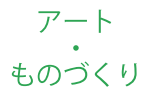
プロジェクト紹介の見方

- 活動風景の写真

- ## 紹介文

- 今年度のスケジュール
(各月・長期企画)

生活文化
・
傳統

[illegible]

01 発信基地 in 朽木の森

くつきチーム

代 表 * 山形蓮（人間文化学部）
活動場所 * 大学（人間文化学部棟）・高島市朽木地域一帯 など
関係団体 * なし



大学の実習をきっかけに私たちが朽木で活動を始めようになり、今年で3年目を迎えます。地域に住んでいてはなかなか気付きにくいその地の魅力を、聞き取り調査やさまざまな体験、地域の人たちとの交流から発見・理解し、学生という「第三者」ならではの視点で伝えていきます。こうして自分の住む地域に対して興味と関心を持ち、地域への愛着や自分なりの意見などを持てるような環境を作っていきたいと考えています。また世代間の交流が少なくなってきた現状から「文化の継承」という点を重視し、地域文化を後世に伝えるための活動を展開します。

今年のスケジュール

4	春祭り参加 at 環の郷交流・研究センター（14日） 朽木感謝祭（20日）	長期・定例
5		
6	朽木MAP作成のための現地調査（3・4日）	
7	朽木紙芝居作成のための聞き取り調査（7～8月上旬）	
8		
9		
10	朽木紙芝居上演（21日）	
11	模擬店出店 at 滋賀県立大「湖風祭」（中旬）	
12		
1		
2		
3		

長期・定例

朽木紙芝居作成（8月中旬～10月上旬）
朽木MAP作り（6月下旬～3月末）
炭焼きについての調査（4月下旬～2月下旬）

02 リバーウォッチング in 安曇川

リバーウォッチング in 安曇川

代 表 * 渡辺大記（大学院 人間文化学研究科）
活動場所 * 安曇小学校・高島市・大津市葛川地域周辺
関係団体 * 滋賀県高島市立安曇小学校



高島市立安曇小学校では、地域を流れる安曇川を軸に河口から源流までを6年間かけて踏破する『リバーウォッチング in 安曇川』が総合学習として取り組まれています。私たちはこの活動を継続的にサポートしています。大学生が子どもたちと実際にフィールドワークに出かけ、地域調査の経験を活かして参加することで、子どもたちがより多くの人びととかかわりあい、「生きる（生き合う）力」をはぐくむことを目指します。また私たちは、こうした地域教育の場が小学生、大学生にとってのよりよい人格形成のための舞台となると考えています。

今年のスケジュール

4		長期・定例
5	学習活動 in 高島市（2, 5, 8, 9, 10, 28, 29日）	
6		
7		
8		
9	学習活動 in 高島市（下旬）	
10	学習活動 in 高島市（下旬）	
11		
12		
1	安曇川博物館「成果発表」 at 高島市立安曇小学校（下旬）	
2		
3		

03 TTP+ (Taga-Town-Project+)

木匠塾

- 代 表 * 中西智也 (環境科学部)
- 活動場所 * 大学 (環境科学部棟)・多賀町門前町周辺
- 関係団体 * 大字多賀区・多賀町商工会・多賀町役場・門前町共栄会
多賀町観光協会・多賀町有線放送



多賀大社の門前に栄えた多賀町は、神々が宿る山林を抱くまちとしても知られています。私たちは、木・山・林業そして木造の建築や構造について実地で学ぶ「木匠塾」の一員として、山とまちをより密接に繋ぎ、それぞれの問題を解決したいと考えます。昨年は、多賀町の間伐材を活用した行灯・駅前看板の制作を行いました。目標としていた地産地消もかない、少なからず山とまちを繋げるきっかけ作りができたと言えるのではないのでしょうか。今後は私たちがこれまでにこのまちで築いてきた“人と人とを結ぶ輪”をさらに広げ、活動の継続を目指します。

今年のスケジュール

4	まち歩きワークショップ (22日) in 多賀町門前町など	木 老 の 日 (毎 月 初 旬・木曜日) at 多賀町福祉会館
5		
6	花壇整備	
7	あんどん制作	
8	万灯祭 (3~5日)	
9		
10		
11		
12		
1		
2		
3		

長期・定例

04 とよさと快蔵プロジェクト

とよさと快蔵プロジェクト

- 代 表 * 中野優 (環境科学部)
- 活動場所 * 犬上郡豊郷町
- 関係団体 * 特定非営利活動法人 とよさとまちづくり委員会



近江商人を多く輩出した豊郷町。この町に残る空き民家・空き蔵の改修を中心に、地域のNPO法人などと協働でまちづくりを進めています。既に改修した3軒の民家のうち2軒はシェアハウスとして運用し、学生が共同生活を送っています。今年度は空き蔵をBarとして改装し、地域の人たちが集い、さらに学生や町外の人との交流の場にしていきたいと考えています。また、今後はまちの課題である福祉の場として活用するためにも改修を進めます。そして、地域でのイベントを通して地域の同世代や子どもからお年寄りまで一緒になって、まちを盛り上げていきます。

今年のスケジュール

4	まちあるき (30日)	学 生 専 用 シ ェ ア ハ ウ ス 改 修 (12~2月) 空 き 家 を 利 用 し た 福 祉 施 設 改 修 (8~10月) 空 蔵 を 利 用 し た B a r 改 修 (6~8月)
5	物件調査・実測 at 豊郷町吉田・安食西・三ツ池	
6	豊郷カロム大会 at 岡村本家 (1日)	
7		
8	ワークショップ開催・屋台出店 (5日) at 豊栄の郷 [とっと祭り] Barプレオープン at 豊郷町吉田・各種イベント会場	
9	Barグランドオープン at 豊郷町吉田 (中旬)	
10	コスモス・パンプキンフェスタ企画・運営 at 豊郷町吉田 (15日)	
11	オータムフェスタ at 豊栄の郷 (5日) 模擬店出店 at 滋賀県立大 [湖風祭] (10・11・12日)	
12		
1		
2		
3	卒業記念コンサート at 岡村本家 (地域中学生対象)	

アートフォーラム2006実行委員会：絆

- 代 表 * 桑名武 (大学院 環境科学研究科)
 活動場所 * 大学 (環境科学部棟)・近江八幡市全域
 関係団体 * ヨシ博物館 (館長 西川嘉廣先生)



アートには『場』を発見させる力があり、まちに新たな側面や解釈を見いだすきっかけとなります。まさに地域の再発見です。私たちはこのような考えから、近江八幡市民病院、近江八幡旧市街地でのアートイベントを計画しています。アーティストと子どもを中心とする地域の人たちの間に私たち学生が関わり、協働してアートをつくりあげます。昨年は市民病院小児病棟に壁画アートを制作しました。これまでの活動から、その過程でのコミュニケーションや協働作業によってもたらされる『公共性』がまちづくりには効果があると感じています。

今年のスケジュール

4

5

6

7

8

9

10

11

12

1

2

3

イベント参加 [八幡掘り釣り大会] (2日)
 イベント参加 [なんでもパズール]

アートイベント in 近江八幡市
 ワークショップ企画
 講師によるお話し会 (中旬)

近江八幡市民病院 開院式 (中旬)
 イベント参加 [水郷めぐり] (時期未定)

子供とヨシのワークショップ

長期・定例

2007年アートイベント計画 (6月～3月)

男鬼楽座

- 代 表 * 杉原宏太 (人間文化学部)
 活動場所 * 彦根市男鬼町
 関係団体 * 男鬼町自治会



鈴鹿山系に位置する彦根市男鬼 (おおり)。昭和40年代に廃村となり、今は無人の集落となったものの建造物は良好な状態で残っています。また集落に暮らした人びとの生活や地域コミュニティ、あるいは周辺の自然環境をも1つの文化的景観として捉えることの出来る貴重な資料となっています。これまでの2年間で自然環境調査、地域文化財調査、社会学的調査を進めてきました。これからは男鬼の元住民の人たちやその子や孫世代とともに文化的景観資源を積極的に保存し、再び人が集えるよう、滞った地域社会の復活を目指し活動を展開します。

今年のスケジュール

4

5

6

7

8

9

10

11

12

1

2

3

ミーティング with 他大学 (初旬)

ミーティング with 男鬼自治会長
 茅場探し (下旬)

葺き替え見学会下見 (初旬)

合同合宿 (中旬)
 with エコキャンパスプロジェクト 生き物部会
 民家耐震調査 with 他大学 (下旬)

屋根の葺き替え見学 (中旬)
 [京都府美山町など山間集落]

茅の刈り取り・葺き替え (初旬)
 山村生活博物館 (中旬)

長期・定例

07 ヒコネベロタクシープロジェクト

輪ダチ（わだち）

- 代 表 * 齋藤毅（環境科学部）
活動場所 * 彦根商栄会けやき館
関係団体 * ひこね自転車生活をすすめる会



彦根市では2007年に開催される「国宝・彦根城築城400年祭」に合わせて、ベロタクシー（自転車タクシー）を運行する計画を立てています。そこで滋賀県立大学と滋賀大学の学生を中心に構成する『輪ダチ』は他の市民団体などと協力し、2007年3月の運行に向けて準備を進めています。自転車という環境にやさしい乗り物に関しての活動を通して、車文化からの離脱とスローな文化の定着を目指します。今年度は滋賀県各地でPR走行を行います。あなたも『輪ダチ』と一緒に彦根にVELOTAXIを走らせませんか？メンバーに加え、ドライバーも随時募集中です。

今年のスケジュール

- 4
- 5
- 6 PR走行 at 滋賀県立大「湖風夏祭」(24日)
- 7 VELOTAXI NARA Partner 見学 (1日)
- 8 VELOTAXI グッズ制作 [PR活動ユニフォーム・団扇]
- 9
- 10 中古 VELOTAXI 1台購入
PR走行 (25～27日)
at 長浜ドーム [滋賀県びわ湖環境ビジネスメッセ]
ドライバー研修 at VELOTAXI NARA Partner
- 11 PR走行 at 滋賀大 [滋大祭] (上旬)
PR走行 at 彦根市内商店街 [えびす講] (下旬)
PR走行 in 滋賀 [VELOTAXI 琵琶湖一周キャラバン]
- 12 PR走行 at ビバシティ [ウィンターファッションショー]
PR走行 at ビバシティ [クリスマスイベント]
- 1 ドライバー研修 in 東京 [VELOTAXI JAPAN]
- 2 新型モデル VELOTAXI 2台購入
- 3 VELOTAXI HIKONE Partner 本格運行開始
in 彦根市 (21日～)
イベント走行 in 彦根市 [彦根城築城400年祭] (下旬)

長期・定例

VELOTAXI 購入のための市民サポーター募集開始 (8月)

08 コノマチ助隊

ACT Q座

- 代 表 * 佐藤孝（人間文化学部）
活動場所 * 彦根花しょうぶ通り商店街・河原町周辺
関係団体 * 花しょうぶ通り商店街振興組合



私たちは、彦根工業高校・京都大学丸谷研究室・滋賀県立大学柴田研究室と協力し、彦根市内の袋町と花しょうぶ通り商店街周辺の簡易耐震診断と地域防災調査を行います。それに基づいて、耐震・防災・まちづくりワークショップを開催し、普段は身近なものとして認識されにくい防災問題を、専門家でない地域の人たちにも分かりやすく伝え、地域が直面している問題をより現実のものとしてあぶり出すことを目標とします。ACT Q座は、これまでに築いてきた地域とのつながりを活かし、研究グループと地域を円滑につなぐコーディネーターとしての役割を担います。

今年のスケジュール

- 4
- 5 木造住宅の強度・耐震調査① in 河原町
- 6 木造住宅の強度・耐震調査② in 河原町
簡易耐震診断
- 7 木造住宅の強度・耐震調査③
ワークショップ・勉強会 [講師: 滋賀県建築士会]
- 8 地域防災調査実施
耐震・防災・まちづくり ワークショップ
- 9 RC造・木造の最終耐震診断
- 10 耐震・防災・まちづくり ワークショップ
耐震補強工事の施工工事開始 [モデル]
- 11 耐震・防災・まちづくり ワークショップ
- 12 最終成果物作成・配布 (12～2月)
- 1
- 2
- 3

長期・定例

09 いかにして民家？

古民家楽座

代 表 * 磯村有里（人間文化学部）

活動場所 * 彦根市・近江八幡市

関係団体 * 特定非営利活動法人彦根景観フォーラム



昨年まで「七曲がり楽座」「日牟礼楽座」として活動してきた両プロジェクトが統合し、新しく生まれ変わりました。今年度はそれぞれの活動を継続しつつ、活動範囲を彦根市及び近江八幡市を中心とした湖東地域一帯へと広げます。湖東地域で存続の危機にある伝統的建造物の実測調査を行い、図面として記録しながら地域の歴史的環境を形成する要素となる伝統的建造物の価値を再評価し、保存・活用法を探ります。さらに地域がそれぞれに持つ歴史的景観の特徴を調査、復原方法を考察し、その結果から、地域独自の一体感ある景観づくりを提案します。

今年のスケジュール

4

5

旧吉田家見学 in 近江八幡市日牟礼（上旬）

6

住民意識調査 at 日牟礼地区（中旬）
実測調査 at 彦根市七曲がり地区 藤村家（下旬）

7

8

町家公開イベント（上旬）
旧吉田家活用案作成（中旬）

9

旧村岸家の調度品整理（中旬）

10

住民意識調査 at 七曲がり地区（中旬）

11

12

調度品展示・公開イベント（中旬）

1

パンフレット作成

2

3

長期・定例

10 中山道コンシェルジュ育成プロジェクト

C3（Community Concierge Consultant）

代 表 * 迫間勇人（環境科学部）

活動場所 * 彦根市鳥居本宿・高宮宿、犬上郡豊郷町、愛荘町愛知川宿

関係団体 * 特定非営利活動法人 近江中山道を楽しむ会



私たちは中山道の宿場をつなぐネットワークづくりを進め、その中で地域の魅力をつなげる人材『コンシェルジュ』の発掘、育成を目指して活動しています。昨年度は、宿泊イベント「宿楽」やまちの色づけプロジェクト「百彩」などのイベントを企画・運営してきました。また、みやげものコンクールで最優秀となったパンキンケーキも商品化されています。今年度は、引き続き百彩、宿楽プロジェクトを実施するとともに、これまで点（各宿場）から線（中山道）へ展開してきた活動を、さらに彦根中心部などの観光的周縁地域を視野に入れた面的活動へと展開します。

今年のスケジュール

4

5

6

高宮蝸牛会アート展 in 高宮（10・11日）
百彩ミーティング at 高宮（28日）

7

和歌山市まちなか街道案内サービス社会実験会議
in 和歌山市（4日）
坊ちゃんかぼちゃ推進委員会 in 豊郷（6日）

8

柿渋作り体験 in 鳥居本（11日）
百彩 in 高宮（13日）

9

百彩報告書作成（9～10月）

10

和歌山市まちなか街道案内サービス社会実験
in 彦根中心市街地（中旬）

11

12

1

2

宿楽 豊郷（10・11日）

3

宿楽 鳥居本（17・18日）

長期・定例

高宮蝸牛会テントアート設置 in 高宮（5～7月）
ホームページ・パンフレット制作「中山道を楽しむ会＋C3」（5～11月）
中山道を楽しむ会定例会 in 鳥居本 or 豊郷（毎月第2水曜日）

11 社会資本としての集住体プロジェクト

ちーむ はっけい

代 表 * 中尾達郎 (大学院 環境科学研究科)
活動場所 * 大学 (環境科学部棟)・彦根市全域
関係団体 * なし



『集落、それは集まって住む形の原形である』
99年のチーム結成以来、私たちはこのコンセプトのもと彦根市内の集落を継続的に調査・分析し、報告書の形で記録、データを蓄積してきました。今年度も彦根市の集落を中心に調査を継続し、データのさらなる充実化を図ります。さらに他プロジェクトと連携し、集落調査のノウハウや知識を実践の場で活かしていきたいと考えます。こうした活動が、慣れ親しんだ地域景観への意識の啓発や新たな発見のツールとして今後の集落発展の参考となり、文化景観継承の一助となるよう、地道に活動を継続します。

今年のスケジュール

- 4
- 5 集落調査地・調査内容の考察
- 6 集落調査地・調査内容決定
集合住宅見学会
- 7 集落フィールドワーク調査開始
- 8 集落フィールドワーク調査
都市集住見学事前準備
- 9 都市集住見学会・報告会
- 10 集落フィールドワーク調査
- 11 集落フィールドワーク調査 まとめと考察
- 12 集落フィールドワーク調査 まとめと考察
- 1 はっけい本・報告書作成
*はっけい本…集落データブック
- 2 はっけい本・報告書作成
- 3

長期・定例

都市集住形についての勉強会 (7・10・11月)

12 犬上川竹林プロジェクト

エコキャンパス生き物部会

代 表 * 横川昌史 (環境科学部)
活動場所 * 大学 (エコキャンパスセンター)・犬上川河辺林
関係団体 * 犬上川を豊かにする会



滋賀県立大学の北東を流れる犬上川には、これまでの研究から貴重な植物が生育していることがわかっています。しかし近年、急速に拡大する竹林が原因でそれらの植物の生育環境が悪化しています。そこで私たちは、流域に住む市民を中心に構成する「犬上川を豊かにする会」や周辺自治会と協力して河辺林の竹の間伐を行っています。また、この間伐材を利用して、竹炭や竹紙、竹箸づくりにも取り組んでいます。こうした活動を通して環境への意識が高まり、地域の人たち自身の手によって、環境について1人1人が考えるまちづくりが行われていくことを目指します。

今年のスケジュール

- 4 犬上川河辺林調査 (4・5日)
竹の間伐 (22日)・竹炭作り (29・30日)
- 5 犬上川河辺林草本層調査 (20日)
- 6 筍掘り・干し筍作り (10日)
箸材調達のための間伐 (17日)
竹箸作りブース出展 at 滋賀県立大 [湖風夏祭] (24日)
- 7 ミーティング with 彦根市清掃センター
竹の間伐 (初旬)
- 8 ミーティング with 犬上川を豊かにする会 (19日)
竹の間伐・竹炭作り
- 9
- 10 竹の間伐
- 11 竹の間伐・竹炭作り with 犬上川を豊かにする会
竹箸作りブース出展
at 滋賀県立大 [湖風祭] (10・11・12日)
- 12
- 1
- 2
- 3

長期・定例

13 エコキャンパスプロジェクト 木楽部会

エコキャンパスプロジェクト 木楽部会

- 代 表 * 芹田周平（環境科学部）
活動場所 * 大学（木工室「もくれん」）・滋賀県内の依頼を受けた地域
関係団体 * 大滝山林組合



私たちは2006年春に完成した学内の木工室「もくれん」を拠点とし、木をはじめとする自然素材を使ったものづくりに取り組んでいます。資源循環や森林・林業問題などのテーマに対して、木工という具体的な手法を通して考え、学生や地域の人たち、近隣の教育機関へ発信します。また、活動には多賀など湖東をはじめとする滋賀県産の木材を用い、ほかの自然素材にもできる限り滋賀県産のものを積極的に利用するなど、地産地消の意識を高めます。さらに今年度は、家具などのデザインをブランドとして立ち上げ、知名度を高めていきたいと考えています。

今年のスケジュール

- 4
- 5
- 6 椅子など試作（中旬）
- 7 サイン計画 at 滋賀県立大内園場（下旬）
- 8 「もくれん」内装作業（8月中旬～9月末）
- 9 「もくれん」内装作業 + ワークショップ（上旬）
- 10 椅子・道具棚のコンペ
椅子・道具棚の制作（10月下旬～11月下旬）
- 11
- 12
- 1
- 2
- 3 家具作りワークショップ予定

長期・定例

14 再興湖東焼プロモーション事業

UTSUWAD

- 代 表 * 山越美香（人間文化学部）
活動場所 * 大学（人間文化学部棟）・彦根市内
関係団体 * 特定非営利活動法人 湖東焼を育てる会



江戸時代に彦根藩によって興されたものの、約60年という短い期間で廃窯となってしまった湖東焼。私たちはそんな湖東焼を地域の人たちや窯元と一緒に育て、再興させるためのプロモーション活動を行います。これまでにホームページの開設、体験イベントなどの開催を通して、地域の人たちにより深く湖東焼を知ってもらうための活動を行ってきました。身近な焼き物として愛着を持ってもらうことで、後継者の育成にも繋がっていくと考えます。これまでに続き、陶芸教室やホームページで湖東焼の魅力を発信し、プロモーション活動を展開します。

今年のスケジュール

- 4
- 5
- 6 ろくろ体験出店 at 花しょうぶ通り [勝負市]
- 7
- 8
- 9 穴窯体験 at 信楽
- 10 展示会・陶芸道場開き at 彦根市
- 11 出店 at 銀座街 [えびす講]
- 12
- 1
- 2
- 3 出店 at 彦根市 [彦根城築城400年祭]

長期・定例

陶芸教室 at 彦根市（通年）
湖東焼を育てる会 ホームページ運営（通年）

15

市民および医療に携わる人々との
ふれあいを通して志向する未来看護塾

未来看護塾

代 表

* 西村和紘（人間看護学部）

活動場所

* 彦根市立病院・ばばハウス・ばばクラブ

関係団体

* 彦根市立病院・特定非営利活動法人NPOばばハウス



私たちは、看護学生という視点から、誰もがより健康に生活できる地域社会の実現に向けて、地域に暮らす人びとの多様で流動的なニーズを把握し、応えていきます。彦根市立病院をはじめとする病院や施設でのボランティア活動を通して、「未来の看護」を担うのは私たちなのだ！という意識と責任を持ち、地域医療に携わる人たちとの交流を通して「未来の看護のあり方」について考えます。こうした医療や福祉の現場での実践活動の中で自分たち自身の看護観を築いていくとともに、地域に暮らす人びとと医療に携わる人たちとの架け橋となることを目標とします。

今年スケジュール

長期・定例

彦根市野瀬町高齢者会「長寿会」にて交流会（8月、11月、2月上旬）
「子育てティーンズサポーター養成講座」参加（7月～11月1回）
ボランティア活動 at ばばハウス・ばばクラブ（5・6月1回、10～3月週1回）

4	
5	
6	勉強会【講師：地域NPOより】（19日）
7	
8	こどもフェスティバル in 米原文化産業会館（中旬）
9	
10	
11	企画ブース出展 at 滋賀県立大「湖風祭」（10・11・12日）
12	クリスマス会 in 彦根市立病院小児病棟（中旬）
1	
2	
3	

16

障害児・者、自立支援・共生社会プロジェクト

ボランティアサークル Harmony

代 表

* 渡仲愛子（環境科学部）

活動場所

* 大学（カルチャールーム）など

関係団体

* Melody



私たちは甲良養護学校に通う子どもたちの保護者有志と教員からなる作業所つくり準備会「Melody」の活動を3年間支援してきました。私たち学生は、ハンディをマイナスに捉えている大人の思い込みや決め付けにとらわれず、子どもたちとともに積極的に挑戦し、彼らの可能性を広げていきたいと思っています。このような思いから、お茶会や粘土工作をはじめ、カヌーや宿泊の体験などさまざまな活動をたくさんの人の協力のもと行ってきました。こうした経験の中で彼らのコミュニケーション力も向上し、地域もまた障害に対する理解が深まると考えます。

今年スケジュール

長期・定例

定例会議（Melody+Harmony）in 県立大学「4月のみ東近江市愛東地区」（毎月）
定例活動（お茶会・粘土工作）in 県立大学（7～9月のぞく毎月）
ボランティア講座（7月・10月・3月）

4	
5	
6	お茶摘み・製茶 in 東近江市愛東地区（4日）
7	宿泊体験活動 at 童夢館【湖東町】（29～30日）
8	
9	カヌー体験
10	
11	
12	宿泊体験活動 + クリスマスコンサート
1	
2	
3	

17 菜の花エネルギーネットワーク

菜の花エネルギー

- 代 表 * 原建 (大学院 工学研究科)
活動場所 * 大学 (工学部棟)・彦根市内
関係団体 * 特定非営利活動法人 菜の花プロジェクトネットワーク



私たちは、資源循環型地域の実現を目指し、菜の花バイオディーゼル燃料を用いたエネルギー環境教育を中心として活動を進めています。まず廃食用油の回収会などを通して、家庭から排出される廃食用油の有効利用への理解を深めるとともに、エネルギーと環境に対する意識を高めます。また今年度は、休耕地や裏作期を利用して菜の花を栽培、菜種油を搾取して家庭での利用を促進し、さらに廃食用油を燃料化します。こうした一環の流れが根づくよう、地域でのネットワークを構築し、活動を継続させていくことを目的としています。

今年のスケジュール

- 4
- 5 バイオディーゼルカート
1号機整備 (5月下旬～随時)
- 6 バイオディーゼルカート
2号機製作 (6月上旬～7月下旬)
- 7 高校生向けエネルギー講座 (下旬)
- 8 高校生向けエネルギー講座 (下旬)
- 9 菜の花栽培準備 (9月下旬～10月下旬)
in 三津・海瀬地区
- 10 菜の花 種まき (10月下旬)
in 三津・海瀬地区
- 11 ステージ用エネルギー供給
at 滋賀県立大 [湖風祭] (11・12日)
- 12
- 1
- 2
- 3

長期・定例

廃食用油の回収会 in 彦根市 (7月・9月・11月・1月)

18 Fashion Show

生活デザイン専攻3回

- 代 表 * 中村耕太 (人間文化学部)
活動場所 * 大学 (人間文化学部棟)・Viva City・銀座商店街
関係団体 * 花しょうぶ通り商店街復興組合、銀座商店街
登町グリーン通り商店街、橋本商店街、中央商店街



琵琶湖の豊かな水が作り出す自然環境のなかで、滋賀県の繊維産業は育まれてきました。そこで私たちは「滋賀の繊維」について知識を深め、これからの新しい服飾デザインに活かしたいと考えています。これまで9年間、湖風祭のステージとして学生自らが企画し、主体的に開催してきたファッションショー。そのノウハウを活かし、より多くの人に滋賀の繊維について関心を持ってもらい、私たち自身も地域の人たちとの積極的な交流の中で学び、制作活動を行います。さらに、地元の商店街や商業施設でもショーを開催し、地域イベントとしての定着を目指します。

今年のスケジュール

- 4
- 5
- 6 生地の調査
- 7 外部へ参加要請
- 8 生地に関する勉強会
- 9
- 10 ファッションショー in ビバシティ (中旬)
- 11 ファッションショー + 展示
at 滋賀県立大 [湖風祭] (10・11・12日)
- 12 ファッションショー in 糸びす講 (彦根商店街)
- 1
- 2
- 3

長期・定例

服のデザイン画・制作 (7月～11月)

19 ひこねブランド

ユニット L・F

- 代 表 * 鎮目麻衣（人間文化学部）
活動場所 * 大学（人間文化学部棟）・美成産業 会社内
関係団体 * 美成産業株式会社



彦根市を中心とする湖東地域は、全国でも有数の縫製製品の産地です。しかし、高い縫製技術を持っているにも関わらず、その事実あまり多くの人には知られていません。そこで新たな滋賀のシンボルとして優れた地域資源「彦根市の縫製製品」を全国へ発信し、多くの人にその存在を知って利用してもらう事を目的とします。市内企業での新ブランド立ち上げに際し、企業シンボルマークやコンセプトづくり、商品の広報活動などを含む広い分野でデザインの提案を行います。その中で『地域のオリジナリティ』について考え、デザインに織り込み、表現していきます。

今年のスケジュール

4		長期・定例
5	打ち合わせ with 美成産業（8・29日）	
6	打ち合わせ with 美成産業（19日） 市場調査 in 東京（21日）	
7		
8	市場調査（8月～9月下旬）	
9	ブランド基本部分製作【コンセプト・ロゴなど】	
10	販売広報活動の立案 ツール試作・製作【商品梱包など】	
11	モニター調査・評価	
12	ブランドづくりにおける全ツール完成	
1	PR展開・セールスデザイン計画	
2	販売展開の実施	
3		

20 Let's 複合

廃棄物パスターズ

- 代 表 * 香川浩志（大学院 工学研究科）
活動場所 * 大学（工学部棟）
滋賀県東北部工業技術センター・リッチェル 他
関係団体 * （株）安土産業



昨年度私たちは、県内外企業の協力のもと、地球環境に優しいモノづくりとして廃棄物95%以上からなる“リサイクル・プランター”の製造に成功しました。そこで今年度は、商品として耐光性や耐熱性について実際に有用か、予備実験を実施するなど製品化に向けて活動を進めます。また技術的な実験と並行して、地域の人たちを“モニター”として実際にプランターを使ってもらい、実体験の調査を行います。こうして地域の人たちにもユーザーとしてプロジェクトに参加してもらうことで環境問題への関心やリサイクルに対する意識の向上を目指します。

今年のスケジュール

4	リサイクルプランター 新聞・プレス発表（中旬）	長期・定例
5	KBS滋賀ラジオ出演（4日） JSR技術開発報告会 at 滋賀県立大（31日）	
6	プランター展示 in 滋賀県水環境科学館（15日）	
7		
8		
9	新型プランター製造	
10	プランター展示（25～27日） at 長浜ドーム【環境ビジネスメッセ】	
11	企画ブース協同出展 with 甲良養護学校 at 滋賀県立大【湖風祭】（10・11・12日）	
12		
1		
2	プランターに関するモニター意見集約	
3		

新型プランター製造に関する予備実験（5～8月）
リサイクルPP・PEの大型製品製造技術開発（5～10月）
モニター募集（4～6月）
ポリ乳酸リサイクル技術開発（5月～）

projects list 過去の採択プロジェクト一覧

平成16年度

- 01 Taga-Town-Project 木匠塾
- 02 わっしょい湖東（湖東地域広域観光デザインプロジェクト） 木匠塾
- 03 障害児・者 自立支援・共生社会づくりプロジェクト
ボランティアサークル Harmony
- 04 リバーウォッチング in 安曇川 滋賀県立大学 地域学研究室
- 05 「部戸のある家」の保存と活用 日牟礼楽座
- 06 市民および医療に携わる人々とのふれあいを通して志向する未来看護塾
未来看護塾
- 07 発信基地 in 高島郡 KTT
- 08 Q+ ACT（Q座）
- 09 BIWAKOビエンナーレ実行委員会 BIWAKOビエンナーレ実行委員会
- 10 初めての農家 農の現場で学ぶ学生プロジェクト チーム農しん
- 11 廃村「男鬼」の村おこし 男鬼楽座
- 12 Nio Project 内湖に調和した環境提案 Nio（Naiko in Occupation）
- 13 竹林プロジェクト エコキャンパスプロジェクト 生き物部会
- 14 三津・海瀬町土地利用計画 RE CULTIVATOR（再構築する者）
- 15 社会資本としての集住体プロジェクト ちーむ はっけい
- 16 「土戸のある家」の保存と活用 七曲がり楽座
- 17 中山道コンシェルジェ養成プロジェクト
C3（Community Concierge Consultant）
- 18 造形活動拠点の形成と展開プロジェクト
エコキャンパスプロジェクト 木楽部会
- 19 とよさと快蔵プロジェクト とよさと快蔵プロジェクト
- 20 信楽グランドデザイン調査開発事業 マニフェスト信楽
- 21 上丹生地域アイデンティティ計画 職人塾「上丹生」
- 22 吾川村下名地区地域活性化事業 ドラマ下名
- 23 下着関連新製品開発デザイン事業 F. U. L 彦根
- 24 伝統創作仏壇デザイン開発事業 彦根仏壇デザインチーム

平成17年度

- 01 リバーウォッチング in 安曇川 リバーウォッチング in 安曇川
- 02 市民および医療に携わる人々とのふれあいを通して志向する未来看護塾
未来看護塾
- 03 再興湖東焼プロモーション事業 UTSUWAD
- 04 吾川村下名地区地域活性化事業 ドラマ下名Ⅱ
- 05 発信基地 in 朽木の森 KTT
- 06 いっそ磯 いっそ磯
- 07 「部戸のある家」の保存と活用 日牟礼楽座
- 08 「土戸のある町家」の保存と活用 七曲がり楽座
- 09 Taga-Town-Project 木匠塾
- 10 Let's 複合 廃棄物バスターズ
- 11 三津・海瀬町市民農園プロジェクト RE CULTIVATORS（再構築するものたち）
- 12 とよさと快蔵プロジェクト とよさと快蔵プロジェクト
- 13 描こう八坂生活絵巻！ 地域の「携帯博物館」プロジェクト～2nd stage
耳の会
- 14 BIWAKO“近江八幡”ビエンナーレ BIWAKOビエンナーレ実行委員会
- 15 社会資本としての集住体プロジェクト ちーむ はっけい
- 16 犬上川竹林プロジェクト エコキャンパスプロジェクト 生き物部会
- 17 おきくら エコキャンパスプロジェクト 木楽部会
- 18 環境フェスタ in 祇王 P-S（ピース）
- 19 農村エコツアー ～知農考獣～ けものSOS
- 20 中山道コンシェルジェ育成プロジェクト
C3（Community Concierge Consultant）
- 21 愛知川宿新生プロジェクト 新生愛知川宿
- 22 菜の花エネルギーネットワークの構築 菜の花エネルギー
- 23 廃村「男鬼（おおり）」の村おこし 男鬼楽座
- 24 ニューススポーツとまちづくりプロジェクト NEW Spozza CLUB
- 25 琵琶湖の今と昔 水辺塾
- 26 あいせい田んぼの生き物プロジェクト あいせい田んぼの生き物プロジェクト

ex. プロジェクト名 チーム名

a proposal 私たちの思い

キャンパスは琵琶湖。テキストは人間。

広大な湖を取り巻く豊かな自然に囲まれて
私たちは大学生活を送っている。

そんな生活の中でふと思うことがある。

本当に豊かな環境、本当に豊かな人間とは…

その答えを地域に求めて
私たちはこれからも活動を続けます。

近江楽座

お問合せ先 ＊近江楽座事務局
〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500
TEL：0749-28-8299 FAX：0749-28-8473
E-mail：rakuza@ses.usp.ac.jp